

研究機関：広島大学

研究課題名	ヒト IgA 腎症患者組織における、ヒストン H3.3、ヒストンシャペロン HIRA タンパク発現に関する検討		
研究責任者名	広島大学病院 腎臓内科 教授 正木 崇生		
研究期間	平成 29 年 5 月 15 日 ~ 平成 30 年 3 月		
対象者	平成 20 年 4 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日の間に、広島大学病院腎臓内科に入院し、腎生検にて IgA 腎症と診断された患者。		
意義・目的	腎疾患の進展に腎線維化が重要な役割を果たすことが知られていますが、腎線維化が進行する分子生物学的機序についてはまだ解明されていません。今回、IgA 腎症と診断されたヒト腎生検組織を用いて、腎線維化マーカー・ヒストン H3.3・HIRA の関連性について調べ、腎線維化の進行にヒストン H3.3、HIRA が関与することを明らかにするため、この研究を計画しました。		
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、身長、体重、性別、血液検査（血液一般検査、血液生化学検査）、尿検査、血圧、内服薬、IgA 腎症の病期分類、腎生検組織所見です。腎生検時に作成したパラフィン切片の残余を用いて、免疫染色を行います。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)		
共同研究機関	ありません。		
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 腎臓内科 教授 正木 崇生		
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。		
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-1506		
	広島大学病院腎臓内科	教授	正木 崇生 (研究責任者)
	広島大学病院透析内科	講師	土井 盛博 (研究担当者)
	広島大学大学院医歯薬保健学研究科腎臓内科学	大学院生	進藤 稔弘 (研究担当者)